

平成29年度

事務事業評価表 A（平成28年度の実績評価）

記入年月日 平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名 経営体育成支援事業... 事業区分 新規/継続 単独/補助... 担当 050102000814... 所属課 050101 農林課... 事業期間 単年度繰返し... 農業経営支援事業

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要... ①事務事業の概要（事務事業の全体像）... ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順... 経営体へ事業要望周知... 事業要望経営体の取りまとめ...

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移... ①手段 ④活動指標... ②対象 ⑤対象指標... ③意図 ⑥成果指標... 事業申請者数... 認定農業者数... 事業実施経営体数...

(3) 投入量（事業費）の推移... 27年度 (実績) 28年度 (実績) 29年度 (計画) 30年度 (目標) 31年度 (目標) 期間限定総投入量... 国庫支出金 千円 16,007 0 1 4,500 4,500 0... 総計 30,988 2,031 2,032 6,531 6,571

事業費の内訳... 28年度事業費 実績 (千円) 29年度事業費 予算 (千円) 19 負担金補助及び交付金 1 合計 0 合計 1

(4) 当該年度の実施内容... ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する... 29年度の事業内容 30年度の事業内容 31年度の事業内容... 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業

事務事業名	経営体育成支援事業	事務事業No.	50102000814	所属課	農林課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・新規就農者、さらなる経営発展を目指す農業者、集落営農組織など多様な経営体が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化に取り組む際に必要となる農業用機械や施設の導入等を支援し、経営体の育成・確保を図るため、平成22年度から開始された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 ・行政による農業機械・施設等の整備に対する助成が減少しているため、当事業に取り組めるように支援してほしい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	・新規就農者、さらなる経営発展を目指す農業者などの多様な経営体が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化に取り組む際に必要となる農業用機械や施設の導入等を支援することにより担い手の育成、支援につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	・経営体が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化に取り組む際に必要となる農業用機械や施設の導入等を支援することにより担い手の育成、支援につながるため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	・当事業における採択基準は、県の配分基準で定められているので向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	・経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の多角化に取り組む経営体が減少する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	・類似事業はないため、統廃合できない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	・必要最低限で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	・事業取組地区については、県が採択している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・平成28年度は、採択された経営体が多かったが、次年度からも農業者の要望に沿うような目標設定を行い、多くの採択数を確保できるようにする。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下	×	×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○	×																					
	維持																								
	低下	×	×	×																					

(6) 事務事業優先度評価結果
成果優先度評価結果
コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認